

オフィスサニーが運営する紙雑貨ブランド「plus Orange」の製品をジュニア記者たちが取材。自社で独自に開発した手触りの良い紙素材とは何なのでしょう？そして、オリジナルリングノート作りはうまくいくのでしょうか？



モノづくりの現場を見せてください！

特殊印刷加工技術・バーコ印刷について

教えてもらいました

バーコ印刷は、紙の表面に凹凸をつけるアメリカで生まれた特殊印刷加工技術で、印字したインキの上に「バーコの粉」という特殊な粉をかけて熱処理をすることで、印字部分が盛り上がります。日本ではあまり普及していませんでしたが、品質を一定にするノウハウをオフィスサニーが習得。現在、いろいろなオリジナル紙雑貨に使われています。



▶バーコ印刷に使われる印刷機。300℃以上の熱で処理をすることで、紙が燃えないように動かしながらいま印刷します



▲バーコの粉をかけた印字部分が盛り上がり、きれいな凹凸の和柄になりました



▲「革のような紙」で作られたブックカバー。紙とは思えないような手触りにびっくり！

◀まずは動画でバーコ印刷の特徴を学びます。オフィスサニーの高橋さんがバーコ印刷について詳しく教えてくれました

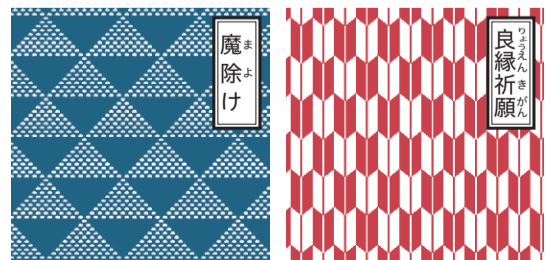
まるで本物の革みたい！

櫻田 穂依さん



バーコ印刷を使った製品 っているいろいろあるんだね

店内には、和柄を印刷した「印傳のような紙」を使った雑貨がたくさん！「印傳」とは、なめした羊や鹿の革に漆で文様を付けたものです。南蛮貿易が盛んな17世紀にインドから伝わり、「印度伝来」がその名の由来と言われています。江戸時代には粋を愛する江戸の人々に愛好され、現代でも年代を問わず愛されています。また、和柄の伝統文様には一つひとつに意味があり、人々の生活が豊かになるよう願いが込められています。



▲和柄にはいろいろな意味があるんだね



▲バーコ印刷を使ったオリジナル製品

いろいろな模様があるよ

杉山 忠輝くん



オリジナルリングノートを作ってみよう！



自分で好きなパーツを選んでオリジナルリングノート作り挑戦！表紙と裏表紙は、たくさんある和柄の中から選び、ノートの中身は無地やドットなどの中から2種類まで選べます。リングはシルバーとブラックがあり、好きなものを組み合わせて世界に一つだけのノートを作ることができます。どんなノートができあがるかな？



どれにしようかな？

▼ノートの中身に使う紙を考え中。色は白とクリームがあります



うーん、悩む



これに決めた！

▲表紙と裏表紙を選びます。色と柄がたくさんあるので迷う！

▶リング製本機を使って、紙にリングを通す穴を開けます。次に、リングと紙をセットしてハンドルを下げてと製本できます



▲穴を開ける場所を間違えないよう慎重に作業を進めます。高橋さんが丁寧に教えてくれるので、初めてでも安心



▲リング製本機にリングを装着。シルバーとブラック2色のリングを使うことにしました



▲ガシャーン！とハンドルを下げます。最初は緊張していたけど、だんだん慣れて楽しくなってきました！

▶装着したリングに、穴を開けたノートの紙を差し込みます。完成まであと少し



かわいい和柄がお気に入りです



毎日持ち歩いて大切に使えます

上手にできました！

若い世代にもバーコ印刷を知ってもらいたい機会になりました。最近人気アニメの影響もあって、街のいろいろな場所で和柄を見かけます。それぞれの柄にどんな意味があるのかを考えながら見ると楽しいですよ

plus Orange のご案内

株式会社オフィスサニー
荒川区東日暮里4-4-6
☎3802-1916



高橋 晶子さん
株式会社オフィスサニー

荒川区にある「モノづくり見学・体験スポット」を探そう！

区内にはオフィスサニーだけでなく、モノづくりをしている企業がたくさんあります。「モノづくり見学・体験スポット」では、工場・工房で製造工程の見学やモノづくりの体験ができます。詳しくは、「モノづくり見学・体験スポットガイド」を見てね。

※必ず事前に電話予約をしましょう。認定看板が目印です。

▶モノづくり見学・体験スポットガイド

詳しくはこちら



問合せ 観光振興課 内線461



モノづくり見学・体験スポット

▲認定看板